

【01 接吻亭へようこそ　　お迎えで骨抜きキス】

(※2人ともマイク正面)

真由莉「いらつしやいませ、お客様。

本日は接吻亭へようこそ……。

ご指名頂きました、真由莉でございます……

つて、あら？

ふふ、今日は随分と可愛いお客様ね……♪

花蓮「いらつしやうい。同じく指名をもらった、花蓮よ♪

ごめんね～

一応決まりだから聞くんだけど、このお店、

18未満の子は入れないんだ。

キミ、18歳以上で合ってる……よね？」

真由莉「まあ……昨日18歳になったばかりなの……？

良かった……安心したわ……♪

これからお姉さんたち、

てつきり悪い事しちゃうのかと思ったわあ……♪

花蓮「え？　よく中学生くらいに間違われるんだ？

あはは、ごめんね～？

キミ、すごく可愛かったから、どうしてもね♪

で……も……

(■※マイクの左耳・ゼロ距離)

(■※ささやく感じで)

お姉さんたち……キミみたいな可愛い子……

嫌いじゃないわよ……♪

むしろ好み……　みたいな？」

真由莉(■※マイクの右耳・ゼロ距離)
(囁く感じで)

「キシも、まんざらじゃ無さそうね……♪

(■※耳に息)

ふーーーーーっ……

え？ むしろ好き？

ふうん……♪

ひよつとして、こういうのに、憧れてたんだ……？

色気ムンムンのお姉さんから、

子供扱いされるみたいにな、攻められたい……みたいな。

じゃあ今日はこのまま……お客様の事を

キシ……とか、ボクくん……で、呼ばせてもらおうね♪

花蓮 「でもお…… 18歳になった途端に

こんなお店に来て、しかも最初から3Pだなんて……♪

ふふ、相当エッチな子ね……♪

え？ ずっとこのお店に来たかったの……？

ずっとずっと気になって、

いつもおちんちん、ムラムラっつて♪ させてたの……？

ふふ……いけない子なんだ……♪

真由莉 (■マイク正面に回って、優しいキス)

じゃあ今日は思いっきり、楽しんでぐっつてね……♪

ん…… ちゅ…… ちゅっ……♪

ん、ふふ……

何驚いてるの……？

ここがどういいうお店か、知ってるのよね……？

ん、ちゅ……ちゅ……

ここは「接吻亭」だから……。

挨拶もキスで、なのよ……？

(■優しいキス音・10秒ほど)

花蓮 (■※マイク左側)

(■※距離は少し耳から離れて)

「ふふ、キミ、これがファーストキス・・・でしょ♪
わかるよ。」

産まれたての小鹿みたいに
ぷるぷる緊張してて・・・♪ ふふ、可愛い♪

真由莉「あら？ 良かったの・・・？」

お姉さんがファーストキスの相手で・・・」

花蓮 (※左耳 ゼロ距離)

「勿論、わざわざこのお店・・・
接吻亭に来てるくらいだもんね・・・♪
むしろ期待してたんだよね？
いっぱいいっぱい・・・キスしたかったんだよね？」

真由莉「ふふ、それもそうね・・・♪

じゃあ、お姉さんといっぱいキス、しましょう？
ん、ちゅっ・・・ ちゅ・・・ちゅ・・・♪

(※優しいキス 10秒)

花蓮 「ふふ、真っ赤になっちゃって・・・

凶星ね♪ 可愛い・・・♪

じゃあ、そろそろ次は私とキス、しよつか♪

真由莉さん、代わって貰える？

(■※マイク正面)

言っておくけどお♪

私は真由莉さんみたいに優しくないわよお・・・？

んんっ！

んちゅれろぶちゅつちゅばっ！
れろちゅばちゅばれろちゅばっ！

(■※激しいディープキス音 40秒ほど)

真由莉(※マイク右耳側)

「まあ♪ すっごい……♪

花蓮さんったら、最初っから容赦なく、そんなに
激しいキスして……♪

(■※マイクに寄って、ゼロ距離)

(■※囁く感じで)

「今ファーストキスをしたばかりなのに、
もう大人のキス……されちゃったね♪

大人のキスどころか、
いきなり舌を深く突っ込まれて……。

お口の中を舌でグチャグチャにかき回されて……♪
口内を隅々まで犯されるみたいなエッグいディープキス……

脳みそまでぐちゃぐちゃにかき混ぜられるみたいな
エロいキス……♪

されちゃったね……♪」

花蓮 「っふぁ……♪ ふふ、可愛い……♪

もう完っ全に目がとろ～んって、蕩けちゃってえ♪
もう上の空になっちゃってるの……？

でももつと、しちやうよ？

恋人でもないような……

ただただ相手を貪りつくすみたいな、
ケダモノみたいなキス……♪

いっぱい、しちやうよ……？

んんっ！ ちゅばれろちゅばれろちゅばっ！

(■※Dキス音・30秒ほど)

真由莉「ふふ、もう、花蓮さん、

流石にこのお客さんは刺激が強すぎですよ……？」

もう身体がふるふる震えちゃってるじゃないですか……♪

ここはまだ廊下ですから……♪

このままだとお客様、

足腰立たなくなつてしまいますから……♪

そろそろ続きはお部屋で、ね？

花蓮「ちゅぽんっ！

っふぁ……♪

ふふ、それもそうね……♪

じゃあお部屋、いこつか♪

つて、キミ、大丈夫……？

足、ガクガクしてるけど、ひとりで歩ける……？

真由莉「今からそんなだと、身体が持たないわよ……？」

接吻亭のサービスはまだまだ

こんなものじゃないんだから……♪

覚悟、しておいてね……♪

【■※〜終〜】